

い k i i k i LIFE みやぎ

エイジングマガジン



2018年12月13日発行

発行

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2-3
TEL.022-223-1171 FAX.022-223-1151
ホームページ <http://www.miyagi-sfk.net/>
(※トップページの「広報」で紙面を閲覧できます)

企画編集

河北新報社

協力

宮城河北会

INDEX

- 3-4 ねんりんピックレポート、インタビュー
- 5 金太郎体操
- 6 イベント&トピックス/鉄道マニアのシネマレビュー
- 7 ピックアップ
- 9 宮城いきいき便り
- 10 いきいきSUNクラブnews
- 11 SUNSUNTライ
- 12 いきいきサロン
- 13 短歌/俳句/川柳/消費生活センター
- 14 Q&A

第31回全国健康福祉祭とやま大会 ねんりんピック富山2018

夢の舞台上で熱戦展開



華やかな衣装に身を包んだ宮城県チームの皆さん

監督・選手 インタビュー



左から佐々木さん、大場さん、渡辺利江さん(60)、岩川恵子さん(61)、佐藤さん(63)、青山充さん(66)



ダンススポーツ

宮城県

団体戦は全国から49チーム196組、宮城県から1チーム4組が出場し、3次予選を勝ち抜いて準決勝に進出した。監督兼選手の千葉三郎さん(69)・洋子さん(64)のチームと野田文正さん(68)・美智子さん(65)のチームは3回目の出場となる。吉田進さん(61)・えみ子さん(62)のチームと佐久田孝行さん(68)・由美さん(60)のチームは念願の初出場を果たした。由美さんは「60歳になるのが待ち遠しかった。緊張しながらも団体戦で

結果を残せて最高」と振り返る。今回は準決勝に宮城県の他、岩手県、秋田県、福島県と東北勢が多く進出した。関東圏に強豪が多いため、準決勝まで東北勢が4チームも残るとは珍しいという。

「準決勝前は東北勢全員で円陣を組み、気合い十分で臨んだ。『仲間の足を引っ張らないように』という思いで、全員が実力を発揮できた」と千葉さん。県内のレベルも上がってきている中、次回の出場を目標に練習を続ける。

円陣で気合い入れ実力示す



ソフトバレーボール

風来坊

結成15年のバレーボールチーム「風来坊」は練習拠点の大崎市の他、登米市や加美町、気仙沼市などに住む20〜60代の男女で活動している。このうち、60歳以上の6人でチームを結成。県代表選考大会でもある「第12回ソフトバレー・スプリングフェスティバル」で優勝し、ねんりんピックに初出場した。

ソフトバレーボールは4人1チームで対戦する。試合ごとに選手と戦術を変え、予選は全勝、決勝リーグで3位になった。

監督兼選手の佐々木俊彦さん(63)は「攻撃力のある佐藤明広さんを中心に、それぞれの持ち味を発揮できた」と充実の表情。キャプテンの大場幸子さん(61)は「普段からスピードやパワーのある若い世代と練習している。技術面や体力面以上に、仲間と楽しむことを大切にしてメダルを手に入れた」とはつらつと話す。

今回は3泊4日で訪れ、富山観光も満喫。メンバーは「大会も観光も楽しかった。食べ物もおいしい」と笑顔で振り返った。

仲間と楽しみ勝利つかむ